

令和6年度用「わたしたちの家庭科5・6」年間指導計画作成資料

◎各題材の目標と評価規準の例 第6学年

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

月	テーマ	題材	小題材	時数	目標	主な学習活動	評価の観点		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月		1 生活時間をマネジメント(3H) A(2)ア A(3)ア、イ 教:p.84~87	①時間をどのように使っているだろう 教:p.84	0.5		○教科書p.84を読み、「かなさんの休日の1日の生活」と自分の時間の使い方を比べて、似ているところやちがうところを見つけて発表し合う。 ○自分の1日の時間の使い方を記入し、課題を見つける。		・自分の時間の使い方の課題を見つけて、解決方法を工夫し、有効な時間の使い方を考えている。	
			②課題を見つけて時間をマネジメントしてみよう 教:p.85~86	1.5	○自分がどのように時間を使っているかをふり返り、課題を見つけて、有効な時間の使い方を考える。	○課題を解決するためのマネジメントの工夫を考えて、ワークシートに記入する。 ○実践の計画を立てる。 ○実践報告会の日程の予告を聞いて、実践の見通しをもつ。			
			③続けよう！生活時間のマネジメント 教:p.87	1	○時間の使い方を工夫して生活することができる。	○グループ内で実践の報告会をする。 ○グループから代表者を決めて学級全体に発表し、友達の実践のよさを共有する。 ○学んだことをふり返り、これからの生活に生かしたいことを記入する。 ○続けていくためのアイデアを考えて発表し合う。	・生活時間を工夫し有効に使うことで、自分や家族の生活が円滑に営まれることを理解している。		
5月	工夫して生活に生かさう	2 できることを増やしてクッキング(8H) B(2)ア、イ B(3)ア 教:p.88~93	①「ゆでる調理」と「いためる調理」は何がちがうのだろう 教:p.88	0.5	○「いためる調理」の特徴を知り、おいしくいためるための課題を設定することができる。	○教科書p.89の写真を見て、「ゆでる調理」と「いためる調理」による青菜と卵の変化について、どう違うのか考え、話し合う。 ○「ゆでる調理」と「いためる調理」の違いから「いためる調理」のよさを知る。 ○いためる調理ができるとういことを考え、課題を設定する。		・おいしく食べるためにいためる調理の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために、いためる調理の調理計画や調理の仕方について実践を評価したり改善したりしている。	・材料に適したため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・材料に適したため方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・材料に適したため方や朝食にあうおかず作りについて工夫し、実践しようとしている。
			②いためる調理でおかずを作ろう 教:p.89~91	6	○野菜をおいしくいためるための調理計画を考え、工夫することができる。 ○材料に適したため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○いためる調理の仕方について、実践を評価したり改善したりすることができる。 ○いためる調理に必要な用具の安全な取扱い、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。	○使用する野菜の特徴と切り方、加熱の仕方を考える。 ○各自の調理目標及び計画に沿っていためる調理を行う。 ○試食をする。 ○野菜をいためた時の特徴を確認する。 ○卵をいためる。	・調理に必要な用具の安全な取扱いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。 ・材料に適した切り方やいため方について理解しているとともに適切にできる。		
			③朝食を食べよう 教:p.92~93	1.5	○食事の役割がわかり、朝食を食べることの大切さについて理解することができる。 ○材料に適したため方や朝食に合うおかず作りについて工夫し、実践しようとしている。	○朝食を食べることが、1日の生活リズムを作るのに役立つことを知り、課題を設定する。 ○朝食を食べるためにできることを話し合う。 ○できるようになった調理を生かして、朝食のおかず作りの計画を立てる。 ○計画したおかず作りの実践について、成果及び課題を報告し合い、これからの生活に生かしたいことを考える。	・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。		
6月		3 クリーン作戦で快適に(4H) B(6)ア、イ、 C(2)ア 教:p.94~97	①なぜそうじをするのだろう 教:p.94	1	○住まいの清掃の必要性に気づき、清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定することができる。 ○場所ごとの汚れの種類や特徴を調べ、まとめることができる。	○自分たちの教室を快適にするために、どのような学習をしたいか考え、学習の見通しをもつ。 ○「学校のよごれウォッチング」をする。 ○発表し合い、特徴を考える。		・清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・清掃の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・清掃の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。	
			②よごれに合ったそうじをしよう 教:p.95~96	2	○汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方・用具を考えて計画を立て、工夫をして掃除をすることができる。 ○汚れの特徴に合った洗剤を選び、環境に配慮しながら、安全に使用することができる。	○グループごとに掃除をする場所を決める。 ○教科書 p.96で、掃除の基本的な手順を確認する。 ○場所ごとに掃除の計画を立てる。 ○計画に沿って、掃除の実践をする。 ○掃除をふり返る。	・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。		・清掃の仕方について、様々な解決方法を考え、実践に向けた計画を立て、工夫している。
			③身の回りを快適にしよう 教:p.97	1	○学校内の清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動をふり返って評価・改善することができる。 ○学校での実践をもとに、家庭での実践を考え、家庭生活を快適にしようとする。	○家庭で掃除に取り組みたい場所を決め、常にきれいにできる工夫を考える。 ○互いの工夫を交流し、自分の計画を見直す。	・清掃の仕方について、実践を評価・改善している。		
		4 衣服の手入れで快適に(4H) B(4)ア、イ C(2)ア 教:p.98~102	①なぜ手入れをするのだろう 教:p.98	0.5	○生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○衣服の手入れをする理由を考える。 ○衣服を脱いだ後、どうしているかを考え、自分の課題を設定する。		・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	
			②衣服の手入れをしよう 教:p.99~101	2.5	○日常着の手入れが必要であることを理解する。 ○洗濯の仕方を理解する。 ○洗濯が適切にできる。	○衣服の手入れについて調べることを確認する。 ○ふだんの生活で衣服につく汚れを調べる。 ○手洗いによる洗濯計画を立てる。 ○手洗いによる洗濯をする。	・日常着の手入れが必要であること、洗濯の仕方を理解しているとともに、洗濯が適切にできる。		

令和6年度用「わたしたちの家庭科5・6」年間指導計画作成資料

◎各題材の目標と評価規準の例 第6学年

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

月	テーマ	題材	小題材	時数	目標	主な学習活動	評価の観点		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7月	工夫して生活に生かそう	5 ずずしい住まい方で快適に (4H) B(6)ア、イ C(2)ア 教:p.104~108	③手入れの工夫を調べよう 教:p.102	1	○日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ○生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	○発表・交流をする。 ・手入れと整とんの実践報告 ・洗濯インタビュー(洗濯の仕方、工夫、失敗) ○実践をふり返る。		・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
			①健康で快適な住まいとは 教:p.104	1	○暑い季節を快適に過ごすために、工夫していることに気づく	○寒い季節の住まい方をふり返り、暑い季節を快適に過ごすとはどのようなことか考える。 ○暑い日を快適に過ごすためにどのようなことをしているか話し合い、発表する。	・健康で快適な住まい方の大切さを理解している。		・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
			②ずずしく快適な住まい方を考えよう 教:p.105~107	2	○暑い季節の住まい方について課題を見だし、快適に過ごすための工夫をすることができる。	○夏の気候の特徴と住まいの働きを話し合う。 ○学校の住環境を調べ、わかったことを話し合い、発表する。 ○調べたことから、ずずしく住むための工夫を考える。 ○調べてみてわかったこと、さらに工夫してみたいことをまとめる。	・ずずしく快適な住まい方について、理解している。	・暑い季節の住まい方について問題を見いだして、課題を設定している。	
9月	6 ソーイングで生活を豊かに (11H) B(5)ア、イ 教:p.110~117	③生活快適プランを考え、生活に生かそう 教:p.108	1	○自分の生活に合わせて生活快適プランを考え、快適な住まい方を実践しようとすることができる。	○学校の住環境調べや家庭で調べてきたものを発表する。 ○今までの学習から、自分の住まい方に合った生活快適プランを考える。 ○生活快適プランを共有する。		・快適な住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
		①どのようなふくろが使いやすいだろう 教:p.110	0.5	○身近な布のふくろについて関心を持ち、使う目的に応じた工夫を見つけることができる。	○身の回りにあるふくろには何があるかを発表する。 ○いろいろなふくろを観察し、目的に合わせた工夫を調べる。 ○見つけた工夫を発表する。		・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見いだして課題を設定している。		
		②目的に合ったふくろを作ろう 教:p.111~115	9.5	○布を用いたふくろの製作について問題を見いだして課題を設定することができる。 ○自分の作りたいふくろの材料や手順がわかり、製作計画を立てることができる。 ○用具の安全な取り扱いを理解し、布を裁断し、正しくしるしをつけることができる。 ○製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。	○自分の生活をふり返り、手縫いやミシンで生活を快適、便利にするようなふくろを考える。 ○ふくろにいろいろな物を入れて、出し入れしやすいふくろや必要な布の大きさについて話し合う。 ○その他に使いやすく、楽しくなるような工夫を調べたり、話し合ったりする。 ○目的に合った工夫を発表する。 ○製作計画を立てて発表し、工夫を交流する。 ○ふくろの製作。	・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解していると同時に適切にできる。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作について考え、工夫している。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
10月	7 こんだてを工夫して (10H) B(1)ア、イ B(2)イ B(3)ア、イ 教:p.118~124	③作ったふくろで生活を豊かに 教:p.116~117	1	○製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。	○製作をふり返り、感想を発表し合う。 ○自分や家族が実際に活用した結果をふり返る。 ○製作の工夫や活用の感想について報告会を開く。 ○友達の報告を聞いて、感想や意見を伝え合う。 ○これからの製作や製作した作品の活用に生かせるように、友達の報告を参考にして、実際の生活にどう生かせるか考える。		・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価したり改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現している。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について工夫し、実践しようとしている。	
		①料理や食品をどのように組み合わせるとよいだろう 教:p.118	1	○1食分の献立の栄養バランスについて問題を見いだして課題を設定することができる。	○教科書p.118を参考に「ご飯とみそ汁に組み合わせるおかずを考え、どのように選んでいるか話し合う。		・1食分の献立の栄養バランスについて、問題を見いだして課題を設定している。		
11月			②1食分のこんだてを立てよう 教:p.119~121	2	○献立を構成する要素がわかり、1食分の献立作成の方法について理解することができる。 ○1食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫することができる。 ○栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○献立の立て方について考え、まとめる。 ○1食分の献立を立てる。 ○立てた献立を3つの食品のグループに分けて栄養バランスを確認し、修正する。 ○修正した献立をもとに、グループで工夫の仕方や修正の仕方について話し合い、自分に生かせることを取り入れ、修正する。	・献立を構成する要素がわかり、1食分の献立作成の方法について理解している。	・1食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫している。	・栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。

令和6年度用「わたしたちの家庭科5・6」年間指導計画作成資料

◎各題材の目標と評価規準の例 第6学年

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

月	テーマ	題材	小題材	時数	目標	主な学習活動	評価の観点		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12月	工夫して生活に生かそう		③工夫して毎日の食生活に生かそう 教:p122~124	7	○1食分の献立作成やおいしく食べるための調理の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。 ○1食分の献立作成やおいしく食べるための調理の仕方について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現することができる。 ○家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。	○食事作りの計画について知る。 ○ゆでたり、いためたりして作る主菜と副菜のための調理計画を考える。 ○課題となっていることについて、調べ学習の計画を立て、まとめる。 ○調理計画にそっておかずを作る。 ○試食 ○食事の仕方を工夫することについて考える。 ○おいしく食べるために、家庭で実践するための計画を見直す。 ○作成した献立をグループで発表し合い、計画を修正する。 ○グループに分かれ、実践発表会を行う。 ○友達の見聞から新たな課題を見つけ、健康を考えた食事の仕方についてまとめる。	・材料に適したゆで方やいため方を理解し適切にできる。	・1食分の献立作成やおいしく食べる調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことをわかりやすく表現している。	・家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善しようとしていたり、生活を工夫し、実践しようとしている。
			①地域の人たちとのかかわりを見つめよう 教:p126~127	1	○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることがわかり、地域の人々との協力が大切であることが理解できる。	○教科書p.126・127の挿し絵を見て、家庭生活と地域との関わりについて話し合う。 ○地域や地域に住む人の様子から、よいところや困っていることについて考える。	・家庭生活は人々との関わりで成り立っていることがわかり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。		
			②地域の人たちとのかかわり行動してみよう 教:p128~129	2	○地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定したり、課題の解決に向けて「地域かかわりプロジェクト」の計画を立て、実践したりすることができる。	○地域の活動への参加の実態等を知ったり、友達と共有したりすることを通して、地域とのつながりについて問題を見だし、課題を設定する。 ○地域の中で自分ができる「地域かかわりプロジェクト」の計画を立てる。 ○「地域かかわりプロジェクト」の計画を見方・考え方の視点で見直したり、友達からアドバイスをもらったりして工夫・改善する。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に受けて主体的に取り組もうとしている。	
1月	工夫して生活に生かそう	8 共に生きる地域での生活(5H) A(3)ア、イ 教:p.126~131	③地域の人たちと共に生きよう 教:p130~131	2	○「地域かかわりプロジェクト」の実践をふり返って実践計画を評価・改善し、地域の人々と、よりよく関わっていくために考えたことを表現し、家族や地域の人々との関わりについて生活を工夫しようとしている。	○「地域かかわりプロジェクト」の実践を発表する。 ○実践を通して気づいたことをもとに、よりよい実践になるよう工夫・改善点を考える。 ○実践を通して、新たに気づいた地域の人々の暮らし方や困り感について交流する。 ○これからも続けていけそうな取り組みや、中学生になってから自分ができるような関わりができるか考える。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。	
			①生活と環境の関係を考えよう 教:p132	1	○自分の生活と身近な環境が相互に関係していることに気づく。	○環境に配慮しないと地球環境はどうなってしまうかを考える。	・自分の生活と身近な環境が関係していることに気づく。	・環境に配慮した生活について考えられる。	
			②生活と資源の関係を考えよう 教:p133	1	○人や環境に配慮した、資源としてのものの扱い方を理解し、日頃の生活においても自分ができるような工夫をすることができる。	○資源の循環の各場面とSDGsとの関連を考え、記入する。お互いの考えを見合う。 ○ものとの付き合い方において、循環を意識することのほか、大事なことを考える。	・地球の資源やエネルギーを効率よく循環させることの重要性を理解している。	・身近な生活のできる、人や環境に配慮した工夫について考えられている。	
2月	工夫して生活に生かそう	9 持続可能な社会のために(3H) C(2)ア、イ 教:p.132~135	③生活の中で取り組もう 教:p134~135	1	○持続可能な社会構築の視点から、今後自分も家庭生活の中で取り組む内容や生活の工夫について考えることができる。	○ものを循環させる取り組みとして、調べてきた身近な地域の取り組みを紹介し合う。 ○ものの扱いのほかに持続可能な社会のために、身近な地域の取り組みられていることを予想する。 ○エネルギーを使うことで得られる私たちの生活を想起する。	・生活を見直し、資源やエネルギーの使い方について問題を見だし、課題解決の方法を考えている。	・持続可能な社会の構築の視点から、自らの家庭生活をふり返り、よりよい生活の仕方を工夫しようとしている。	
			2年間の学習を中学校につなげよう(1H) 教:p.136~137	1	○2年間の学習をふり返り、できるようになったことを確認する。 ○中学校での学習に興味をもち、意欲を高める。	○教科書p.136を使って2年間でできるようになったこと、これから生かしていきたいことなどを発表する。	・2年間の家庭科学習で学んだことの活用の仕方を理解している。		
			生活の課題と実践* A(4)ア (設定・計画・評価…2H) 教:p.37, 80~83	1	○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家庭生活や家庭科学習をふり返り、話し合いや発表を通して課題を見つける。 ○課題の実践計画表を作成する。 ○作成した計画表をまわりの友達や家族と共有したり、相談したりして計画を改善して取り組む。	※家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから「知識・技能」の評価は行わない。	・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりの中から問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活にするための解決方法を考え、計画を工夫している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて実践した結果を評価したり改善したりしている。 ・家庭の仕事または、家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく説明したり、改善したりしている。	・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・家族や地域の一員としてよりよい生活にするために、家庭の仕事又は、地域の人々との関わりを工夫し、実践しようとしている。
3月	工夫して生活に生かそう	9 持続可能な社会のために(3H) C(2)ア、イ 教:p.132~135	発表	1	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。	○家庭や地域で実践した結果を発表する。 ○周りの人の取り組みの発表を聞いて、気づいたことや改善点についてアドバイスする。			

*生活の課題と実践について…課題の設定・計画・評価を2時間で想定し、実践は長期休業中などの時間外にしています。指導学年・時期は限定されません。